

50周年記念誌

-1967-

大阪市立萩之茶屋小学校

50周年記念誌正誤表

場 所 誤 正

目次 下から3行め	旧職員の動静	旧職員の動静
P 2 下から11行め	健やかに ^べ	健やかに
P 3 上から8行め	「環境」は ^x …	環境は… [→]
P 3 上から20行め	記念式典典に ^x	記念式典に
P 7 上から4行め	腐朽 ^x せしる	腐朽せしる
P 7 上から9行め	天皇陛下 ^x	天皇陛下
P 7 下から11行め	鉄筋3連 ^x	鉄筋3階建
P 7 下から6行め	警察 ^x	警察
P 14 枝下区域図の下	至 ^x 海田	至 [→] 瀬波
P 21 左写真の上	くだ ^x さ	くださる
P 28 左下2つの写真		上下入れかわり
P 29 右上から7行め	事を完了する ^x	事を完了する
P 29 右上から12行め	暖恒装置 ^x	陽常装置
P 30一番上	旧職員一覧表 ^x	旧職員一覧表

校 歌

歌

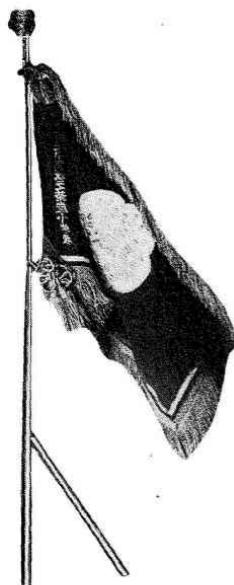
作詩 大高慎吾
作曲 山中二郎

(一)

空の色も うつくしく
遠い生駒の 山々が
しづかに窓に うかびます
私たちも あのような
けだかい心に なりましょう

(二)

(一) 萩の花が うつくしく
さいた昔の ありさまを
しづかに胸に えがきます
私たちも そのような
ゆたかな心を そだてましょう



―― 目 次 ――

―――― 目 次 ―――

校 歌

お祝いのことば 2

ご あ い さ つ 5

歴 代 校 長 6

本 校 の 沿 革 6

思 い 出 を 語 る 12

校 区 図 と 児 童 の 推 移 14

校 舎 平 面 図 と 学 級 編 成 表 15

職 員 一 覧 表 16

校 務 分 掌 17

年 間 主 要 行 事 18

楽 し い 学 校 生 活 20

歴 代 P T A 会 長 29

旧 職 の 動 静 31

同 窓 会 34

終 わ り に 34

お祝いのことば

伝統を輝かしいものに

大阪市長 中 馬 聰

萩の茶屋小学校の皆さん、創立50周年おめでとうございます。ことは、明治100年、六三制発足20年ということで、特に、わが国の教育の歩みがひとしお深く回顧せられます。

本校開校当時は、校下はまだ西成郡今宮町で、歐州大戦による都市の膨張が非常な勢いで近郊に伸びていった時代でした。

それから50年、戦災をはじめとして、学校や校下は、幾多の厳しい苦難と試練に見舞われたのであります。本校は情操教育の徹底、環境の整備、生活指導を教育方針の3本の柱として、常に全校一致、教育の成果高揚と学園発展のためにご協力を賜わりました。

ここに私は、心から創立50周年のおよろこびを申し上げますとともに、皆様がたのご尽力とご協力に際し敬意と感謝の意を表わし、本校の伝統をますます輝かしいものに、伸し育て上げられますよう、お祈り申し上げます。

校風を保ちながら発展

大阪市教育長 柏 原 好 光



萩之茶屋小学校のみなさん、創立50周年おめでとうございます。

一口に50年といいますが、その間、本校の歴史のうえにも、いろいろうれしいことや悲しいことの思い出が、数多くあったことと思います。

りっぱな本校の姿を見るととき、そのかけにいかに多くの人々が苦労し、学校を育ててこられたことかと、その努力のあとがしのばれます。

おとうさん、おかあさんはじめ地域社会の人々の協力、先生や教育関係者の献身等が積み重なって、今日の萩之茶屋小学校があるのです。

本校が「情操教育の徹底」「学校環境の整備」「生活指導の充実」を終始一貫した教育方針として実行し、年とともに着実な成果をあげ、また、近年は、健全な心はからだづくりからと健康教育にも熱意を傾け、昨年大阪府準1位の表彰を受けられたことを非常にうれしく思います。

萩之茶屋小学校の児童のみなさん、これからもいっそう伸び伸びと明るく勉強に励み、健やかにに成長してください。

また、ご父兄や校下の方々には、萩之茶屋小学校が良き校風を保ちながら、さらに一段と向上発展するよう、よろしくお力添えを賜りますようお願い申しあげます。

校運の隆盛と発展

西成区長 杉 原 一 男

わが国の政治、経済、文化の発展に大きな革命をもたらし、近代日本の基礎を確立したといわれる明治維新も顧みればことしでちょうど100年になるのであります。この記念すべき年と時を同じくして、萩之茶屋小学校が創立50周年の輝やかしい日を迎えたことは、誠に意義深いものがあり、衷心よりお祝い申し上げます。

ご承知のとおり、本校は大正6年6月に大阪府西成郡今宮第3小学校として産声をあげてより今まで、50年の長い伝統と、尊い歴史を有する由緒深い学校であります。

ひと口に50年と申しますが、この間には吉今末曾有の敗戦という悲惨な歴史をはさんで、わが国の社会情勢には多くの激しい変遷がありましたが、本校においてもその例外ではなく、校舎の戦災、復旧、増築と、いずれも言語に絶する困難の中を、よくこれらを克服し、年とともに栄え、堅実な歩みを続けて今日のような施設、内容ともに充実したりっぱな学校になったということは誠にご同慶に堪えないところであります。

しかしながら、この輝かしい成果のかけには歴代P.T.Aの方々を始め、校下の皆様方の教育への深いご理解とご熱意に加えて、歴代諸先生方のたゆまぬ実践活動の賜ものであったと確信し、心からなる敬意と感謝の念を捧げるものであります。

昔からよく「環境」は人をつくると言われておりますが、本校のおかれている環境は必ずしも学校教育に恵まれた条件を備えているとはいえないようと思われます。

しかしながら、本校におかれでは早くから特に「道徳教育」と「健康教育」を車の両輪として児童の教育に専念され、その結果去年11月には健康優良児学校大阪府準1位の栄えある表彰をうけられたのであります。これひとえにご関係皆様方の卓越した指導方針と絶大なるご努力の賜ものであると心から敬服いたしている次第です。

人造り、国造りが強く提唱されております今日、人造りの基礎は学校教育にあることは申すまでもありません。

本日の佳き日を契機とされまして、今後ともさらに周囲の環境の浄化に力を尽され、また本校の教育指針である『礼儀正しく、清潔で、明るく、たくましい。子どもづくりにまい進されるとともに、本校の校運がますます隆盛発展を遂げられますことを衷心よりお祈りいたしまして私のお祝いのことばといたします。

児童の将来の幸福

大阪市会議員 辻 昭二郎



萩之茶屋小学校の創立50周年の記念すべき日を迎えられ心からお祝い申しあげます。

想えば5年前の45周年記念式典典に参列の榮を得まして、立派な新講堂で盛大な式典を祝福し慶びを分ち合ったのは、つい最近の事のようにしか考えられなかつたのに、早や5カ年が夢と過ぎ、今この50周年の記念日を迎えるに当たり、まことに感慨無量のものがあります。

しかしながらこの記念を最も意義づけるものは、昨年度において大阪府健康優良学校準1位という輝かしい栄誉ある表彰を受けられたことであります。さきには立派な講堂の新設により学校環境の充実を見、今回は道徳教育、健康教育の2本の基本目標に重点をおかれたことは、この特殊な地域環境に最も当を得た価値ある重要施策の研究と実践指導であり、まことに快挙と申さねばなりません。

この物心両面による生活環境の伸展は熱意と愛情、しかも経験豊富な諸先生の各々その分野において最善のご努力を尽されたことによって、その成果の実を挙げられた誠意に対し深甚の敬意と感謝を捧げるしだいであります。

「天行は健なり」で万物はその天性に従って、その生育の期間、それぞれの変化の中において生長し最善の美を發揮します。人間もその天性の最善の美を發揮するところに価値があるが、その個性の味を培うには長い生命発展の具体的な期間が必要であります。

すなわち教育てるという善き社会環境と善き指導者を得てこそ、心身共に健康に育てられ、生きた人間は生きた人間のまま教育されなくてはならない。幸い萩之茶屋小学校におかれでは校長先生を始め諸先生方がこの教育理念に基き、変転極まりない社会状勢と悪循環の中にあって、最も困難な課題に敢然として取りくまれ、生きた人間育成に心血をそそがれ、立派な成果をなされている事は児童は勿論、地域社会に及ぼすその影響は必ず効果を挙げることと思いまた固く信じているものであります。

更にこの立派な学校における教育実践の蔭には必ずP.T.A校下有志の方々の溢れるばかりの愛情と固い団結による学校づくりと児童の育成に努力をなされていることを痛感いたしております。どうか今後益々ご協力を賜わり「健康で清潔、しかも明るい、たくましく」の校訓の実践に更に微力ではあるが皆様と心を1つにして、本校の教育の伸展と児童の将来の幸福のため努力をいたす決心でござります。

なお、校長先生始め諸先生及 P.T.A 校下有志の方々の一層のご健康とご発展をお祈り申し上げ 御祝辞といたします。

住民のシンボル



萩之茶屋連合団長 市原竹夫

萩之茶屋小学校50周年記念式を挙行するに当たり、お祝のことばを申し上げますと共に、現在までの苦難の時代と今日の発展までに成長してきたあらましをお話し申し上げてございさつといたします。

本校をふり返り昔日を想えば、校下住民の心の故郷であるにもかかわらず、戦争の傷こんも無惨に、焼け野の中に本校舎一棟がそそり立っていました。それは申しあげるまでもなくわたしは、昭和20年11月28日西成警察署前に居宅を定めたのであります。その時に残っている家は、西成署と市民館、本校と三軒のいたましい姿が心の奥深く残っております。

その当時の面影を知るわたしにとっては、今日のこの完成された学舎に、喜々として勉強にいそしむ子どもたちの姿を見るとき、感銘もまた一しおであります。

また学校は萩之茶屋住民のシンボルであり、尊敬のまとであります。なんとしても学校をよくするには、学校と校下の有力者のつながりを持つために、13年前に萩之茶屋小学校後援会を結成、現在では会員も144名の多数に達しました。この間に会員各位のなみなみならぬご理解、ご協力を賜わりましたことは、今日の学校の雄姿となって表われてまいりました。

これまでの、後援会の会員の皆々様のご協力を深く感謝いたしますと共に、今後いよいよのご協力をお願いいたします、50周年記念のお祝いの祝詞といたします。

力をあわせてますます発展

後援会長 時枝 静夫

創立50周年おめでとうございます。10年ひとむかしということばがありますが、そのひとむかしが五つも過ぎているのですから、ずいぶんいろいろなことがありました。きょうのこのよき日を迎えるに当たり水害、戦災はじめその他あらゆる苦難にも耐えて今日の姿にまで発展するには幾多の人々のご労苦を忘れることができません。

鉄筋校舎は増築され、運動場は整備され、プールはでき、講堂が建ち年を追うにつれ子どもたちの学習の場が広げられ、楽しい学校生活がおくれるということは校下に住むわたしたちにとって非常によろこばしいかぎりでござります。これひとえに市区当局のご厚意は申すにおよばず区選出の議員の方々のご努力、校下有志の心からなるご協力があり、その上先生方の惜しみなき児童へのご熱意にプラスして保護者の方との一致団結の賜物であります。

わたしもかつてはPTAの会長を勤めさせていただきましたが、学校をとりかこむすべての人たちが和をもって楽しく力をあわせることほど美しいものはないと思いました。

きょうのよろこばしい日を記念してさらにさらに発展することを心からお祈りしてやみません。

母校の50周年を祝う

同窓会長 日比野正雄



私たちの母校萩之茶屋小学校が、めでたく50周年の誕生を迎えたことを、心からお喜び申し上げます。

かえりみますに、私たちが学び、卒業以来の経過に従い少年時代の思い出が、なつかしく目に浮び上がります。

その間、幾多の変遷を経ましたが、特に戦災による復興再建など、今日まで、長い苦難の時代が続きました。

母校がこのときに当たり、校長先生をはじめ諸先生、PTA先輩、および諸関係皆様方の協力一致、努力と熱意により、母校に今日の繁栄をもたらしたこと深甚なる敬意を捧げるとともに、さらに50周年を契機として、永遠の発展と明日への飛躍台となりますことを祈るものであります。

ごあいさつ

学校長 鈴木嘉明



去りまたきたる星霜いくたびか、ここに本年わが萩之茶屋小学校は数えて50年のよき年を迎えた。思えば遠い半世紀の昔、のどかにちょうが舞い、とんぼが群がり飛ぶ今宮村のねぎ畠の中の専売局工場転用建物を校舎として開校した今宮第三小学校時代より、現在まで、移りかわる世相に従い校運の盛衰もまた共にしたのでありますが、一貫して不变のものは、地域住民各位の学校教育に対する誠実そばくな協力であり、子弟教育の場であると同時に自分たちの心のふるさととしてはぐくむ眞情であります。もとより当地には定着居住者が少なく流動する人口の波に愛郷心は薄められ、教育的環境には恵まれないものがありますが、こと学校に関する限り校下をあげて、教育の聖地として、地域浄化のセンターとしてひたむきな後援には誠に深い感激を覚えるのであります。今50周年を迎え昔日と比ぶべきもない充実した本校の現容を仰ぐとき本校教育に黙々として精励した開校以来360有余名の教職員の方々のご労苦、郡市、区役所、校下有志一同、歴代P.T.A各位のご貢献に敬愛と感謝の念を新たにするのであります。本校の輝かしい歴史の現時点に職を奉じたわれわれ職員は更に心をいたし、複雑高度に連化する人間生活に対処できる不動の基礎的な人づくりの道に力の限り尽す覚悟です。今後とも伝統的な学校愛に満ちた地域各位ならびに関係機関各位の暖かいご指導ご支援をお願いして創立50年記念のことばとします。

P.T.A会長 異章



光輝ある本校創立50周年を迎えるに当たり、この榮えある年にP.T.A会長の任にあることは生涯忘ることのできない喜びです。

学校内の教育設備の拡充、校下の発展、文化向上の場として常に明朗堅実な校風をうちたてその成果を各分野にわたって高揚でき得ることは、ひとえにご当局のご配慮は申すにおよばず、歴代の先生方、P.T.A先輩諸兄、校下の皆様方のおかげです。

人間教育の叫ばれている今日、児童憲章にも「児童はよい環境のなかで育てられる」とあります。このよい環境づくりがわたしたちP.T.A全員のねがいであります。その努力も校下あげてのご尽力なしにはできません。

将来有為な人材を世に輩出し、ゆるぎない校風を築きあげるため、みなさま方のご協力を得まして共に限りない努力を続けたいと思いますので、今後ともご指導ご鞭撻の程お願い申しあげます。

50周年記念事業委員長 渡部佐蔵



いよいよ50周年のめでたい式を迎える日がきました。これまでに校下の町団の方々やP.T.Aのみなさんには物心両面にわたり多大の援助をいただきましたことを心からお礼申しあげます。

わたしがP.T.A会長在任中は、常に子どもたちがのびのびと運動できることを考えていきました。そのための運動場の整地や造園作業にP.T.A各位には何日間も汗みどろになってご奉仕をいただき、いたんだ体育倉庫の改修をお願いすれば、さっそくご承認をいただき、皆様方のご協力のほどがいまさらながらありがたく思ひだされます。

こうした皆様方の子どもへの熱情が昨年度の健康優良学校として表彰される一つのもといともなっていると思います。

きょうの佳き日を記念して、将来につづく学校や子どもたちのために、さらに繁栄と発展をみなさんと共に祈りしてごあいさつといたします。

歴代学校長

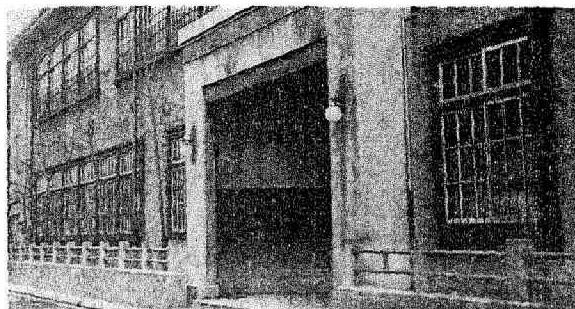
平田啓穂	初代	大正6年6月8日～大正7年3月31日
安福敏昭	2	大正7年8月8日～大正10年3月31日
源島泰一	3	大正10年4月1日～大正12年4月5日
宮崎謙義	4	大正12年4月6日～大正13年1月19日
長田寛二	5	大正13年2月26日～大正14年3月31日
平田利胤	6	大正14年4月1日～昭和10年1月4日
生駒東治	7	昭和10年3月4日～昭和11年8月31日
正井米三郎	8	昭和11年8月31日～昭和15年9月30日
平岡卓馬	9	昭和15年9月30日～昭和21年4月16日
加藤直一	10	昭和21年4月16日～昭和23年8月31日
松下為二	11	昭和23年5月5日～昭和26年4月9日
裏栄太郎	12	昭和26年9月1日～昭和35年3月31日
加島了	13	昭和35年4月1日～昭和37年3月31日
市位暉一	14	昭和37年4月1日～昭和42年3月31日
鈴木嘉明	15	昭和42年4月1日～

本校の沿革

- 大正6.6.15. 大阪府西成郡今宮第3尋常小学校として創立する。
(大阪府西成郡今宮町大字今宮705 現在地)
- 7.12.4. 大阪府西成郡今宮第3尋常高等小学校と改称する。
- 大正7年6月学区の分合と通学区域の変更、今宮第2尋常小学校(現長橋校)学区内、字四条ヶ辻以東、字曳船以北を分離して本校の学区とする。
- 10.3. 今宮第4尋常高等小学校(現今宮校)開校により今池萩之茶屋駅間を通ずる道路を馳らして以北を本校の学区となす。
- 10.4.1. 大阪府西成郡今宮第3尋常小学校と改称する。
- 12.4. 今宮第5尋常高等小学校(現橋校)開校により学区の変動を生じ字海道を第4校に分割し今宮第1小学校(現弘治校)の学区たる西四条2丁目、3丁目長橋通1、2丁目出城通1、2丁目および南開1丁目を学区に併合する。
- 13.7.1. 校舎東部一館を3階建鉄筋コンクリート校舎に着手し、14年1月31日竣工する。
- 14.4.1. 大阪市編入により校名を大阪市今宮第3尋常小学校と改称する。(西成区甲岸町2番地)
- 14.3. 通学区域変更、西成区東田町、東入船町、西入船町、甲岸町、海道町の1部、東萩町639の1

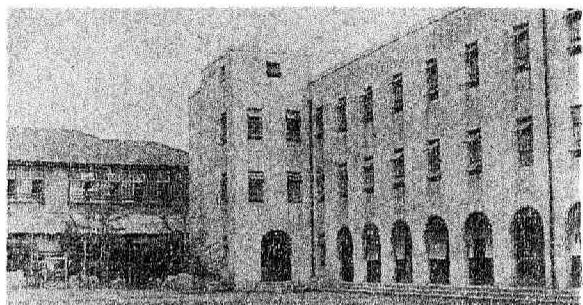
- より5に至る間および640の1、2、677の2今池町の1部中開町1丁目、四条東1丁目より3丁目、西四条1丁目より3丁目、鶴見橋北通1丁目より3丁目、出城通1丁目より3丁目、長橋通1丁目より3丁目、南開町1丁目より2丁目以上を通学区域とする。
- 大 15. 9.20. 西棟17教室および北職員室は煙草専売局より譲渡された遺物で採光通風悪く、腐朽させるを以て木造2階建となすべく区会で可決、中島組これを請負い昭和3年3月落成する。
- 15.11. 告示をもって昭和2年3月限り学区を廃止財産を大阪市に帰属される。
- 昭 2. 3.29. 今宮第6尋常小学校（現松之宮）増設により、通学区域1部変更、鶴見橋北通1丁目、長橋通1丁目、出城通1丁目、南開町1丁目を通学区域とする。
4. 6. 4. 昭和4年6月天皇陛下大阪市へ行幸、後牧野侍従ご差遣視察さる。
9. 9. 室戸台風により木造2階建校舎傾斜のため補強工事をなす。
15. 2.21. 隣接の宇治川電気株式会社より校地買収、甲岸町1番地1,120.38坪、96,912.87円。昭16.4.1. 大阪市立萩之茶屋国民学校と改称する。
19. 9. 9. 府下泉州郡樽井町および西信達村に学童疎開をなす。
20. 6.15. 戦災のため本館木造2階建講堂全部焼失する。
20. 7. 西成警察署21年8月まで校舎1部使用する。
- 20.10. 学童疎開解散、全員帰校する。
22. 4. 1. 大阪市立萩之茶屋小学校と改称する。
25. 9. 3. ジェーン台風により木造平家建給食炊事場倒壊する。
26. 6. 8. 木造平家建（48坪）校舎竣工し、給食炊事室、使丁室、宿直室として使用する（37.1.30まで）
27. 6.15. 創立35周年記念式を挙行する。
- 10.15. 校歌を制定する。
28. 4.20. 木造平家建（パネル式80坪）4教室竣工する（37年9月講堂建設のため撤去）。
- 29.10.17. 鉄筋3階建9教室竣工する（現新館東半部）1,194.2万円。
30. 3.22. 鉄筋校舎増築に伴い図書館、理科室、体育倉庫、その他教具の整備を行なう。建設資金より（1,438,786円）
30. 7.25. 運動場整地工事をなす（PTA34万失対人夫賃71万）。
- 30.12. 8. 鉄筋旧館塗装工事を行なう（25万）
32. 7. 1. 創立40周年記念にプール完成する。
- 33.10.21. 鉄筋3建6教室および便所完成す（現新館西半部）。
34. 4. 6. 正門外柵工事完了する。
35. 9.18. 旧館1階の2教室を給食調理室とし改装する。
- 35.12. 9. 特殊校舎増築のため雲梯すべり台など除去する。
- 昭 36. 2. 流感のため6日より8日まで学校閉鎖する。
36. 4.28. 校舎周辺の屋台車、塵芥、たき火などに関し、察察、消防署、区役所、市教委に陳情する。
5. 9. 清掃局塵芥処理、警察の外柵、警告掲示など陳情に対する処置あり。
8. 3. 地域に暴動発生し府警機動隊を中心に以降1カ月にわたり警備部隊学校に駐屯（3コ大隊）する。
- 9.16. 台風18号によりプール横板倒壊25m、樹木多数倒壊する。
9. 1. ガス暖房工事完成す（7.24～8.30）

- 10.25. 校舎北側、西側パラックおよび屋台車を P T A で除去する。
- 12.12. ガス暖房を開始する。
37. 1.30. 管理室（校長室、職員室、校務員室）の改裝完成し移転する。
2. 1. 分校あいりん学園を開設する。
37. 2. 7. あいりん学園開校式を行なう。
37. 4. 5. 皇太子殿下ならびに美智子妃殿下仁徳ご陵ご参拝の途次26号線で奉迎する（5、6年児童）。
- 7.14. 東田町73番地に信号灯設置陳情する。
- 9.17. 講堂建築地鎮祭を挙行する。
- 10.18. 交通安全をはかるため集団登校を開始する。
38. 2.22. 講堂落成式をかね創立45周年記念式典を行なう。
38. 4. 1. 分校あいりん学園は、あいりん小、中学校として独立開校する。
6. 8. プール外柵ブロック工事完成する（矢対事業による）。
- 6.29. 社会を明るくする運動、子どもを守る運動のパレードに参加する（5、6年鼓笛隊）。
39. 2. 旧館教室扉を引戸に改修する。
39. 6. プール浄化装置を完成する。
- 10.21. 各教室電灯増設工事完成する。
40. 2. 新館1階の1教室を特殊教室に改裝完成する。
6. 講堂の前に造園工事を P T A が作業奉仕する。
8. 旧館2階廊下をモルタル張りとする。
- 10.28. 大阪市道徳教育研修会場となる（10月29日および11月8日の3日間）。
- 12.27. 市教委より $250m^3$ の土の配給をうけ運動場整地作業完成する。
41. 1.24. 給食室風防工事ならびに外側の屋根付渡り廊下完成する。
4. 旧館3階廊下をモルタル張りとする。
- 旧館廊下側窓枠を改修する。
- 5.29~31. 府警機動隊、学校に待機する。
- 6.21~24. 夜間騒動続き、私服警官200名講堂使用する。
41. 7. 7. 健康優良学校実地審査を受ける。
- 11.21. 健康優良学校大阪府準1位の表彰を受ける（全日本健康優良学校児童表彰会）。
12. 7. 全市学童音楽会に出場する（器楽）。
42. 4.30. 旧館1階2教室を音楽特別教室に改裝完成する。
42. 5.10. 体育倉庫の改裝完成する。
42. 6. 3. 警官隊多数講堂に待機する。



本校の沿革写真説明

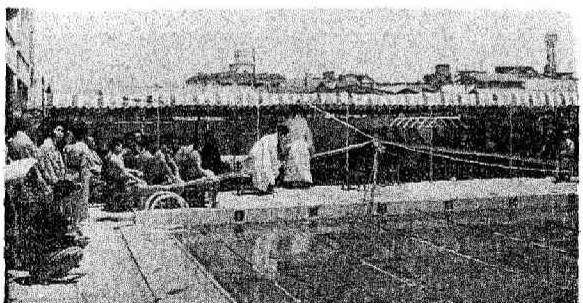
←昭和15年ころの校門



昭和18年ころの校舎→



←昭和19年9月 学童集団疎開 樽井 南岸寺



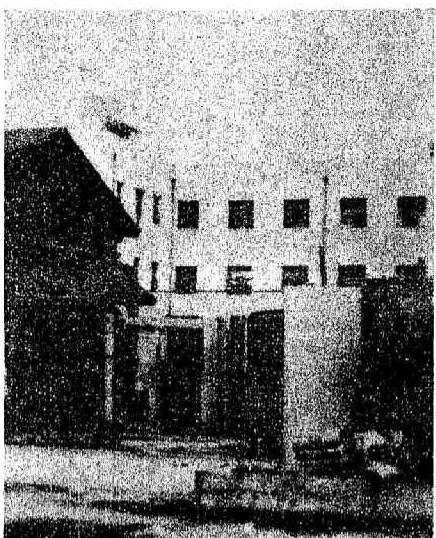
昭和32年7月 フール完成す。→



←昭和33年11月 校舎増築落成記念



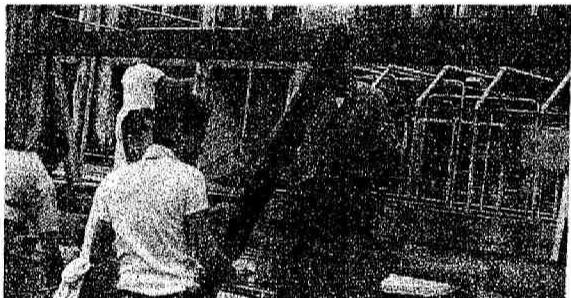
昭和25年9月 ジーン台風 給食室倒壊



←昭和36年10月



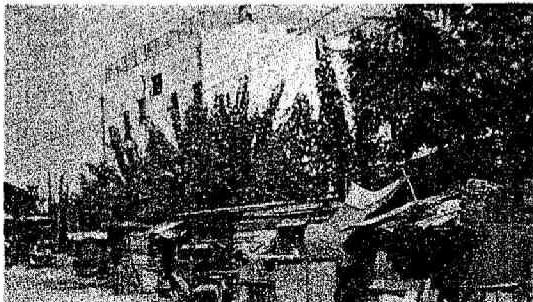
昭和36年9月 台風18号→

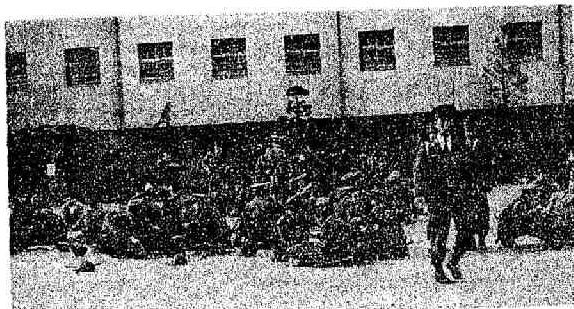


←昭和36年9月 台風18号



昭和36年4月 校舎西側→





←昭和36年 8月



←昭和40年 6月



思い出を語る

帳簿づくりがいそがしかった

黒田英先生は、大正11年から昭和19年まで徳谷キクエ先生は昭和11年から現在まで勤務され、本校の教育に尽された。この2先生は、いわば萩之茶屋小学校教育の歴史をその身でになって来られたとも言える。そこで、黒田、徳谷先生に萩之茶屋小学校50周年にあたって、創立以来の思い出、教育方針、子どものようすなどを伺ってみた。

黒田英先生に聞く

・創設当時は

「わたしが本校に勤務したのは、大正11年ですから、あまりよくは覚えておりませんが、なんだかがらんとした感じの建物でした。今の北校舎は鉄筋ですが、当時は木造で、煙草専売公社の荷づくり場でした。」



・教壇に立って

「特別にこわいとも感じませんでした。ただどういうわけか、今三、今三と言って、旧市内の子どもから馬鹿にされたような記憶があります。」

南海電車が平地を走っていたので、よく電車に通行人がひかれ、『また、ひかれたぞ！』と言って、授業中でも子どもがよく見に行きました。

わたし勤めていたころ本校独自の教育方針というようなものはなかったように思います。ただ昭和元年ごろから、学校の体裁が整い、諸帳簿づくりが忙しかったことを覚えています。」

・子どものようす

「木賃宿から通う子どもが多かったようですが、他校の児童と比べて、目立ったことはありません。子どものふくそうは着物を着て通っていました。べんとうを持ってくる子がほとんどなく、家へ食べに帰る子がほとんどでした。近かったせいもあったんでしょうが、べんとうを作ることを、親がめんどうがったのでしょうか。」

乱暴な子もありました。例えば、授業中、机の上を走ったりする子があって手を焼きました。でも、勉強

のできる子もあり、当時の偉大へ進んだ子もありました。」

・町のようす

「かんてきから出る煙でいっぱいでした。朝夕、戸外でかんてきに火を起こし、ごはんをたいていたせいでしょう。こわいという点では近ごろの方が、わたしにとってはこわくてたまりません。年をとったせいもあるでしょうが。町の巡視は一週間に1回はしました。このごろは町もきれいになりましたが、当時はうす暗い露路がとてもたくさんあり、ごみがいたるところがありました。」

・室戸台風について

「朝早く台風が来たせいもあり、子どもには全く被害がなかったと聞いています。学校がかたむいたりして、あとかたづけがたいへんでしたが、あまり記憶がないところをみると、たいしたこととはなかったのではないでしょうか。」

・最も思い出となることは

「昭和4年に侍従御差遣があった時です。そうじやらそのための準備やらで、てんてこまいをしました。来られた時に、みんな体操をしたり、遊戯をしたりしましたが、なんだかあっという間のできごとで、準備が忙しかったことにひきくらべ、すんだ後は力が抜けたような妙な気分になりました。」

もう一つは、今三、今三と他校の児童から理由もなしにあざさまに言われ、むやみに腹が立っていたことがあります。」

・職を辞されるとき

「戦争の被害が激しくなって、子どもが縁故疎開か集団疎開をしなければならないようになった時にやめました。」

わたしのような年よりでは、集団疎開地で、もし子どもに被害があった時、役に立たないと思いもしましたし、校長からもそう言われてやめました。」

集団疎開地へ行く子どもを見送りましたが、わたしの感じでは、あまり子どもが悲しんでいるようにも感じませんでした。」

戦後先生が食べられなかった

徳谷キクエ先生に聞く

・集団疎開は

「昭和19年に泉南郡樽井町及び西島取町に集団疎開しました。ほんとに苦しい疎開でした。子どもは自分の身のまわりのことも十分できないし、さびしがるし、かわいそうでした。先生の方も大変です。疎開先と学校とを連絡のため行ったり来たりでした。中でも一番困ったのは、樽井町の子どもとなかなかじめないことでしたね。」



・終戦当時のようすは

「学校の環境整備するのが精一杯でした。3月13日の第1回空襲、6月15日の第2回空襲によって、学校も子どもたちの家も焼きはらわれ、そのあとしまつや修理におわれていました。特に終戦当時6年生の子どもは疎開から早く引きあげて卒業式をおこなう予定が空襲のため、子どもたちが四散し、どこへ行ったかわからない子もいて、とても卒業式どころではありませんでした。」

・町のようすは

「そうそう、この辺はあちこちでヤミ市があり、なかなかふつうでは手に入らないもや米、その他の食べものが売られていました。そのためかどうかはわかりませんが、子どもたちは家で何とか食べることはできていたようでした。むしろ先生の方が困っていたくらいで……。」

・西成警察と同居していたことは

「今の東側の校舎の一部を西成警察が21年の10月ごろまで使用していました。ちょうどヤミ市がさかんなときで、あちこちで売られている品物を公定価格で買いあげていたとか言ってました。そのため大ぜいの人がこの学校に出はいりしていました。だから学校の中は、ごったがえしていましたね。」

・学校が落ちついたのは

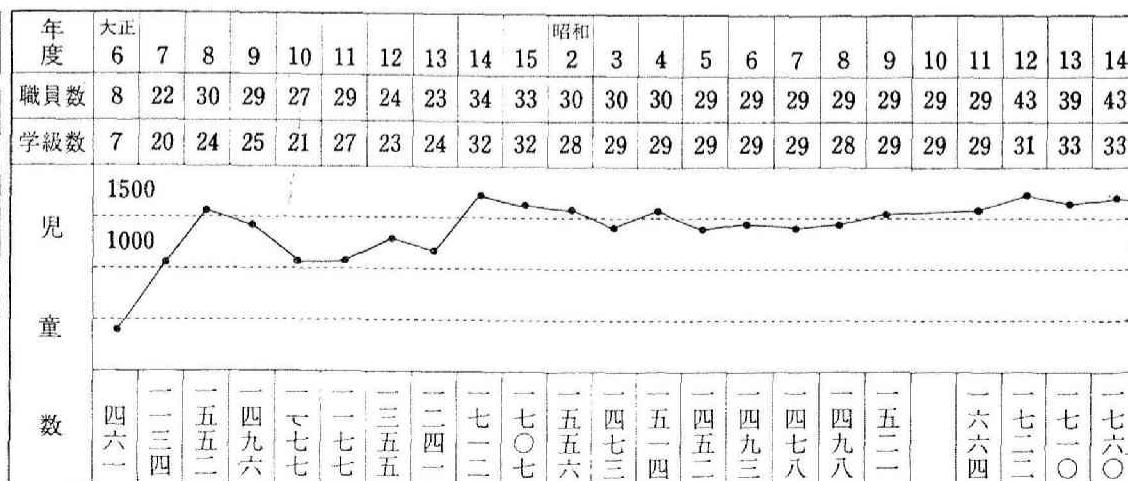
「そうですね、昭和23年に、国民学校から萩之茶屋小学校と改称し、ばつばつ地方へ疎開していた子どもたちが、この地域にかえってきたころからですかね。でも、ほんとに学校らしくなってきて勉強はじめたのは、25年ぐらい、つまり松井校長から裏校長にいたるごろだったでしょう。松井校長は教室その他内部設備をととのえるのに非常に力をつくされていました。また一方、校庭は、いも、やさいづくりのため、よく堀りおこし、作物をつくのに一生懸命です。とにかく、子どもも先生も真剣によく働きました。地域環境、学校環境、すべてが荒れはてていたところから、何とかして少しでもよくしょうという気持ちでいっぱいでしたね。」

今の子どもたちには、とうていわからないことかもしれませんのが、そういうみんなの強い願いや希望が今、現在の萩之茶屋小学校を支えていることをわからせなくては、この学校、いや私たちの学校ということを理解できないのではないかでしょうか。」





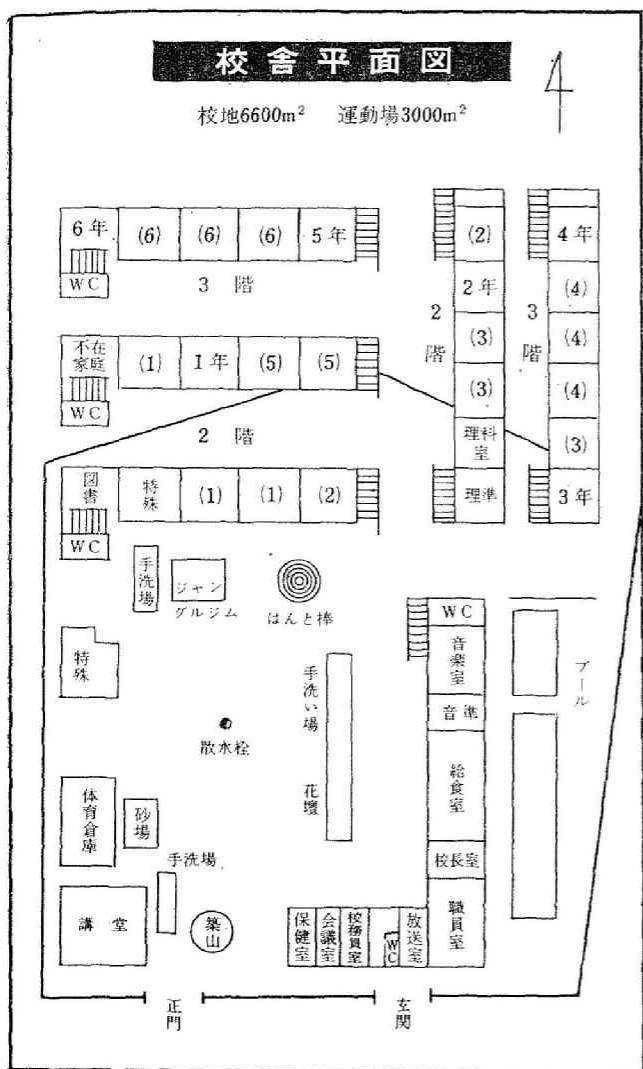
児童数の推移



校舎平面図

校地6600m² 運動場3000m²

4



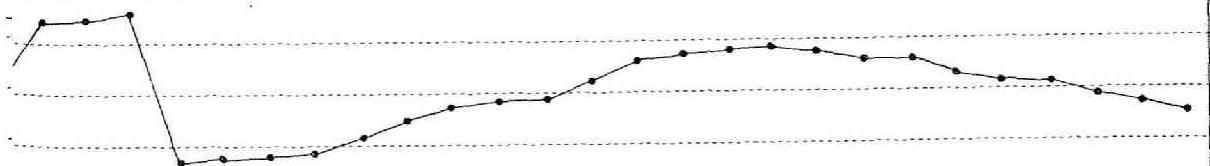
学級編成表

(5月24日調べ)

学年	組	担任名	児童数			仮入学		特別学級	
			男	女	計	男	女	男	女
1年	1	西川 守	20	15	35			1	1
	2	北辻由紀子	17	17	34				
	3	石田 洋一	17	16	33			1	
	4	小林 路子	17	16	33			1	
計			71	64	135	0	3	1	1
2年	1	吉野 武	24	22	46				2
	2	三輪 政江	22	20	42	1			
	3	白崎みゑ子	22	21	43				
計			68	63	131	1	0	0	2
3年	1	丸岡 浩	20	17	37			1	2
	2	徳谷キクエ	16	18	34			1	
	3	田名瀬善三郎	22	12	34				
	4	轟山 亨子	18	17	35	1			
計			76	64	140	1	2	2	2
4年	1	河野 静雄	21	17	38			1	1
	2	四条 爰子	21	18	39				
	3	前川 守盛	21	15	36				
	4	柳沢佐千子	21	17	38				
計			84	67	151	0	1	1	0
5年	1	竹沢 増雄	27	21	48			3	1
	2	藤井 勝子	23	19	42	1			
	3	橋本 演夫	25	16	41	1			
計			75	56	131	1	0	3	1
6年	1	向川 駿雄	23	17	40			6	2
	2	福森 正幸	16	15	31				
	3	大谷 正	15	17	32	1			
	4	木村由利子	13	19	32				
計			67	68	135	1	0	6	2
特								6	4
吉野 亨								6	4
合 計			441	382	823	4	6	12	8

15
43
33

17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42
31	31	33	8	11	11	12	13	14	17	17	21	21	24	26	28	28	28	28	28	27	30	33	33	34	31
32	33	33	8	11	11	12	13	14	17	17	20	21	24	26	28	28	28	28	28	27	26	27	26	26	24



一七	一七	一八	一九	二〇	二一	二二	二三	二四	二五	二六	二七	二八	二九	二一〇	二一	二二	二三	二四	二五	二六	二七	二八	二九	二一〇	二一	二二
一六	一八	一九	二〇	二一	二二	二三	二四	二五	二六	二七	二八	二九	二一〇	二一	二二	二三	二四	二五	二六	二七	二八	二九	二一〇	二一	二二	